



校長のつぶやき

福井市長橋小学校

R 3 . 7 . 1 2

「質問です。校長！近年、学校ではインターネットの利用等について、どのような指導をしているの？」

第6号でつぶやいたとおり、かつて、特に小中学校では、携帯電話やスマートフォンを所持しないように、また、パソコン等でのインターネット接続をむやみにしないようにという指導をしていました。

しかし、情報通信技術の急速な発展に伴い、いわゆる情報化が進み、かなりのスピードでインターネットが普及しました。このころから、「使わない、使ってはいけない」という指導ではなく、「適切に、上手に、賢く使えるように」という指導に移行し始めました。

2015年に福井県で策定された『「ふくいスマートルール」推進運動（左に記載）』

(いじめ問題対策連絡協議会)

わたしたち みんなですめる「ふくいスマートルール」

- 1 インターネット上に、人の嫌がることや悪口を書き込みません。
インターネット上に、名前・住所・顔写真などの個人情報や安易に載せません。
- 2 SNSやメールおよびゲーム等の通信は、夜9時以降は行いません。
(緊急なときは除く)。
SNSやメールおよびゲーム等の通信は、1日1時間までとします。
- 3 インターネットやSNSのより良い使い方を考えます。
インターネットやSNSでいじめ等の問題が起こったら、親や先生などに相談します。

大人もいっしょに考える「ふくいスマートルール」推進運動

- 1 家庭、学校、地域がインターネットのより良い利用法を一緒に考え、大人が率先して、「ふくいスマートルール」を子どもたちと一緒に実行します。
- 2 家庭では、使用時間や置き場所など、わが家のルールをつくります。
月に一度は、家族で、利用状況などルールを守る話し合いをします。
有害サイトによる被害を防ぐため、フィルタリングの設定を進めます。
- 3 学校では、児童生徒と教員が、インターネットのより良い利用を考える場をつくります。
教員は、日ごろから、ネットいじめやトラブルなどを把握します。
教員は、インターネットの使い方や指導について研修します。
- 4 地域では、「ふくいスマートルール」に基づいたスマホやケータイのルールやマナーを呼びかけます。

はご存知でしょうか。実は、このスマートルールの「スマート」は「賢い」という意味なのです。つまり、「賢く使うためのルール」なのです。これが策定された目的は、以下のことではないかと考えます。

子どもをネットの危険から守るため！

■インターネットの利用によるいじめや依存症などの生活習慣の乱れを未然に防止するため

■犯罪等に巻き込まれない、犯罪等を起こさないため、つまり、子どもを被害者にも加害者にもしないため

この推進運動を受け、県内すべての学校で各学校オリジナルのスマートルールをつくっているのです。もちろん長橋小学校にも「長橋版スマートルール」があります。しかし、しばらく内容を変えていなかったようで、一部の児童や先生から、内容を変えた方がよいという声があがりました。現在、高学年を中心にR3年度バージョンの「長橋版スマートルール」を作成していると聞いています。夏休みに入るまでに完成するのではないのでしょうか。どんな内容のものになるか、とても楽しみです。

さて、このように、長橋小のみなさんも、長い長い夏休み中に、ネット上のトラブルなどに巻き込まれてはいけません。そのためには、私たち大人の力も不可欠です。

子どもを被害者にも加害者にもしてはいけない！！

「長橋版スマートルール」には、家庭でつくるルールもあります。夏休み前にできあがった「長橋版スマートルール」をもとに、家族でしっかり話し合い、我が家だけのルールをつくってほしいです。保護者の皆様、よろしくお願ひします。

※次回は、「子どもの周りにはどんなネット上の危険が潜んでいるのか」について、具体的な犯罪等にも目を向けながらつぶやきます。今回も校長のつぶやきにお付き合いいただき、ありがとうございました。